

ガバナー月信

Vol.6

2002.12.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yono.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨

君子之交
淡若水



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
人生の素晴らしい体験	7
「こども奉仕体験作文コンクール」総評	9
作文コンクール受賞作品	10
ライラ研修会報告	13
職業奉仕研修セミナー報告	14
ローターアクト例会訪問記録	14
『ゆうポット』～環境に優しい植木鉢～	16
韓国災害救護金の御礼状	16
矢野年度下半期スケジュール	17
新会員紹介	18
文庫通信	19
出席報告、12月の予定	20



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
「2002年の終わりに」

2840地区

ガバナー 矢野 亨

師走となりました。2002年もアットという間に過ぎてしまったような気がいたします。皆様のご協力を頂きながら、地区大会も終える事が出来、46クラブの公式訪問も、11月26日の桐生赤城RCの訪問で全部終了いたしました。特に11月24日のリーダーシップセミナーについては、会場が狭隘のため、ご不便をおかけしましたが、有意義な会をもつことが出来ましたことを御礼申し上げます。

さて、「ロータリーの奉仕と地域福祉」というテーマで、連載をさせていただいておりますので、今月号は少しばかり、長くなってしまったのですが、気楽に御読みいただければ幸いです。

ロータリーの奉仕と地域福祉（其の五）

12月号

前号で近代福祉国家の生い立ち、特に

英国がその発火点であったことを述べましたが、そもそも何故私が敢えて、ロータリーの月信に「福祉」の話を持ち出すのかと、訝しく思われる方がおられると思います。私の真意は、私達日頃のロータリーの奉仕活動の対極には「福祉」の世界があるのです。世界的にも飢餓の救済を考えよう、ポリオを撲滅しよう、識字率を向上させよう等々、これらは世界的規模の福祉対策と言えましょう。

一方、私達にとって我々の住む地域や国家の福祉の現状は、一体どうなっているのかという現状の正しい認識が必要となって参ります。

その正しい認識、評価に基づいて、我々ロータリアンは地域の社会奉仕を如何にすべきかが、理解され、検討されると思うからです。

私がここで申し上げたいことは、我が国の福祉はまだまだ西欧に比べて決して

「題字によせて」

君子の交りは、淡きこと水の若（ごとし）。 - 荘子 -

読んで字のごとく、君子同士の交際は、水のように淡白であるべきの意味です。ロータリーの会員同士の交際も、かくあるべしと思います

誇り得るものではないということです。

そもそも我が国の福祉は英国やドイツと比べて、残念ながら歴史的にも大変遅れております。遅れているという表現が恥ずかしくなる位、全く微々たるものでしか、なかったと言えましょう。

我が国では、遅ればせながら、戦後の荒廃から立ち上がり、1973年のオイルショックの頃になって初めて、**福祉元年等と唱えられた位**ですから西欧とのギャップはなかなか埋まらないように思います。特にそれは国の政策の面というより、むしろ市民の意識の中にもその差があるように思えてならないのです。

それでは、一体どの程度、西欧と差が見られるのでしょうか、**西欧2,3の国と我が国の「福祉」を検証してみましよう。**

前号で触れました通り、**英国では、かの有名なベバリッチ報告**によって、全国民を対象とする包括的社会保障の枠組みが作られました。具体的には医療国営、完全雇用、多子家庭への児童手当、均一拠出、均一給付の年金等、見事なまでの福祉国家を作りました。

このベバリッチレポートを更に詳しく解説すると、**第一**はすべての成人は強制的に保険に加入するという普遍性の原則であります。これは病気、失業、社会等の為からくる貧困の防止であります。**第二**は保険の拠出は雇用者、被用者、政府の三者によって調達されること。**第三**に均一拠出、均一給付の原則です。**第四**は生存の原則であり、これは生存水準以上

の給付を求める場合は私的保険に頼ることとしてあります。**第五**はナショナル・ミニマムの原則です。**第六**は行政上の統一性を維持する為、国家の行政が関与することとしたのです。

このベバリッチの素晴らしい所は「これは社会主義とか資本主義とか政治的論議のレベルの問題でなく、常識として捉えるべきである。」として、政治的争いに邪魔されることを避けた点であります。

勿論このベバリッチレポートは唐突に出て来たものでなく、ケインズという近代経済学者による、いわゆる「**ケインズ主義的福祉国家**」が下敷きとなっていることは言う迄もありません。

しかし、考えてみると英国という国は、歴史的にも福祉に対して見張るべき改革を実施して来たという誇るべき実績を有しています。

それは**1601年の「エリザベス救貧法」**であります。これはエリザベス1世による慈善的救貧法であります。これは英国の商業改革によって農民が都市に流入し、貧民化した為、これを救済する国家的法律でありました。当時日本の現状は一体どうでしょうか？1600年と言え、**天下分け目の関ヶ原の戦い**の年で、貧民など生きようが死のうが無頓着で、貧民救済の福祉政策など正に程遠い時代だったと言えましょう。

この救貧法は産業革命を経て、1834年に新しい救貧法が制定されます。これは18世紀後半の産業革命によって再



び大量の労働者が都市に集中します。都市に集中した労働者は例外なく、過重な労働、粗悪な労働環境、低賃金による貧困等に悩まされ、失業者が溢れることとなります。

従来、農村において牧歌的とも言える自助的相互互助組織が行われていたものが**産業革命によって徐々に自壊の道を辿って行く**のです、その結果として、国は何らかの、より**強大な保障機構**が求められるようになって来たのです。

国として対応を考えるならば、一つは**税**でまかなうという方法であり、もう一つは「**社会保険**」という方法です。この社会保険の考え方は、個人の保険料を財源として**集団でリスクに備え、且つリスクの分散**をはかる考えです。この制度が地球上初めて創設されたのが19世紀のドイツであります。

この社会保険の実施は何故か英国では遅れるのです。結果的にはドイツがいち早く、この社会保険を取り入れ、改革に反映させるのです。

英国においては、社会保険導入に手間取っている間に、貧民救済の方策として民間組織のセツルメント運動が発達します。**ロンドンのトインビーホール**はセツルメント運動の大本山とも言われ、多くの貧困労働者を救済することとなります。

私が月信9月号で紹介した米国のポールハリスと対比した**ジェーンアダムス**も、このロンドンのトインビーホールでセツルメント運動の実践を勉強して、

シカゴへ帰り**セツルメント「ハルハウス」**で献身的運動を展開することになるのです。

ついでにドイツの福祉行政について述べてみたいと思います。

ドイツの福祉行政

英国と比べて産業化の後発国であったドイツでは、ドイツ帝国の統一(1871)と併せて産業化、工業化が急激に行われ、自然科学の領域では絢爛たる花を開いたもの、産業化の犠牲とも言える労働者の窮乏と貧困は労働力の再生産という意味でも強力な保護を必要としたのです。当時の鉄血宰相と言われた**ビスマルク**は、

- 1) 健康労働者には労働を
- 2) 疾病労働者には医療を
- 3) 老齢労働者には保護を

という政策を掲げたのです。この為の方策としてドイツでは未だ民間資本の蓄積が弱体であったので、国が保険事業を行うという官営保険事業を行ったのです。

疾病保険が出来たのが1883年、労働災害保険が1884年、障害者老齢保険(年金)1889年、尚、つけ加えますと失業保険が1927年、第五の保険と言われる介護保険が1994年。

これに比べ英国で社会保険が出来たのが1897年に小規模の労災保険が共済的な制度としてスタートし、1906年には、これも全く小規模でありましたが失業保険の原型が発足します。無拠出の老齢年金も1908年に小規模で発足す

るといったもので**社会保険制度は英国では、ドイツ帝国の後塵を拝する形で、しかも、大変未成熟であったのです。**

このような背景を受けて、現状打破をしたいという国民の要望が漲り、新たな福祉制度としてのベバリッチレポートの実施が英国で実現したのかも知れません。

スウェーデンの福祉

英国と並んで福祉国家として挙げるのにスウェーデンを除く訳には参りません。スウェーデンは、1932年以降、社会民主党政権が続いていた為、福祉政策の採用がスムーズに行なわれ、福祉国家の下地が出来上がっていたと言われていいます。

スウェーデン福祉立国の立役者として **Adolf Hedin** を挙げなければなりません。彼は労働者災害保険、老齢保険を提唱し採用することになるのです。これはドイツの社会保険の実施の現状を参考にしたとも言えます。1939年、第二次世界大戦が勃発しますがスウェーデンは中立を堅持します。東の隣国フィンランドがソ連に進攻され、西の方兄弟国であるデンマーク、ノルウェーがドイツに占領されますがスウェーデンの中立は維持され、第二次世界大戦の終止によって1940年代、**大戦の被害を受けなかったスウェーデンは一拳に経済発展を遂げると共に、高福祉政策を実現します。**

しかし英国もスウェーデンも高福祉を維持する為、高負担を義務付けますが1

973年のオイルショック以来、高負担の見直しを福祉制度上の改良が議論に挙げられていることは御承知の通りであります。英国では社会問題となった歴大なウエイティングリスト解消対策に民間保険の採用已むなしという計画すら持ち上がっております。

この頃我が国、日本では福祉対策はどのようであったのでしょうか？1911年という年を取り上げてみたいと思います。

この年我が国に「工場法」が出来ます。これは工場で働く労働者保護の法律ですが、この前後の労働者を取り巻く条件は過酷なものでありました。

1905年、日露戦争が日本勝利で終わったのですが、**戦争の費用を外貨で生み出すために、特別な産業のない我が国は「生糸」の輸出に頼らざるを得ません。**

明治末期、我が国の私立工場労働者80万人のうち、女子50万人、其のうち20歳未満の女子30万。如何に年少女子労働者に依存していたか驚くべきものがあります。この頃の製糸工場で働く女工さんの悲惨な生活を書いたものに、**「ああ、野麦峠」という小説**があります。これは映画にもなりましたから、ご存知の方も多いと思います。岐阜県、飛騨の国に生れた少女が、生活を助けるため、野麦峠を越えて信州の諏訪の製糸工場で働くのです。過酷な労働に耐えるのですが、結核に罹り、ろくな治療もされない



まま、迎えに来た兄の背におぶさったまま、野麦峠を越えながら死んでゆく悲しい物語です。著者山本茂美氏は、大正6年松本の生まれ、この本は昭和43年に初版が発行されています。

これは、太平洋戦争の後の小説ですが、**大正の当時、この、女工の労働衛生に、鋭いメスを入れたのが、石原修(1885 - 1947)**です。

石原修は、九州大医学部卒、東大医学部衛生学助手、を経て1926年大阪帝大衛生学教授、となりますが、1913年(大正2年)「衛生学上よりみたる女工の現況」を学会に発表し、センセーションを起しました。この論文は「**女工と結核**」と題して、**労働衛生学上、不朽の名著となったのです。**

その内容を簡単に述べますと、毎年20万人の女工が新規採用され、病気のため8万人が帰郷する。女工の死亡率は工場内では、1000人对8人ですが、帰郷者では、1000人对30人と高い。当時の女工数を50万人とみると、毎年9000人の女工が亡くなっている。同年齢の一般女子の死亡が4000人と計算されるので、少なく見積もっても、女工になったために、毎年5000人が死亡した計算になる。石原の算定によると9000人の女工死亡のうち、6300人が結核死することになる。この責めは工場にあるとしました。

この報告は当時の衆議院、貴族院を動かしました。都市の工場で結核に罹り、農山漁村に帰った女工さん達は、結核の

処女地であった農山漁村において、結核菌伝播の感染源ともなったと言われています。

かつての我が国では、結核は「国民病」と言われ、その異常に高い死亡率から亡国病とも言われていましたが、ツベルクリン、B.C.G.などの予防対策や太平洋戦争後の抗生物質、ストレプトマイシン、PAS、ヒドラジッド、その他の薬物の発達によって、現在は恐るべき病気でなくなったことはみなさんご存知の通りであります。しかし、我が国では結核の暗黒時代が昭和20年代迄続きます。

以下次号。

G S E



人生の素晴らしい体験

フィリピンGSEチームリーダー

ティオティモ ラロツツア レイズ

私達は、群馬県をゴツゴツした山と火山の県として、単純に捉えておりましたが、そこに生活している人々の印象は全く異なったものでした。ロータリーの組織、特にGSEの委員の方達は、滞在期間を通じて素晴らしい企画と親愛の情を示してくれました。そして、種々の職場訪問を通して、仕事への勤勉さや自然を愛する気持ち、家族を愛する気持ち、又国を愛する気持ちがヒシヒシと感じられました。

今回の交流を通して、お互いの歴史や文化の違いやお国の歴史、社会経済の動向など、様々な意見の交換をする事が出来ました。

ホストファミリーは、私達の期待以上の素晴らしい歓迎をしてくれました。私達を単なる訪問者や旅行者としてでは無く、本当の家族の一員として扱ってくれました。彼等はほんの一握りの旅行者しか経験出来ない様な素晴らしい機会を作ってくれました。どのホストファミリーも本当に心の底から私達を受け入れて戴き、感謝の念に耐えず、とても光栄に思っております。このような素晴らしい経験は生まれて初めての事です。もちろん、ホストファミリー以外のロータリアンや御家族の方達にも同様の事が申せます。沢山の友情や御理解を戴き、最良な形で私達自身の眼を開き、心を開く事が出来ましたし、生涯を通じての大切な友だちも作る事が出

来ました。

さて、私達の滞在期間中の印象を次に記述します。

1) 社会と家族について

日本の社会と家族は、相対的に私共の国と似ています。昔からの文化では御主人が外で働き、奥さんが家を守る形ですが、多くの場合、夫婦が協力して生活費用を確保し仕事も分担されている様です。多くの職場に於いて沢山の働く女性を眼にしました。

2) 教育とスポーツについて

多くの先進国と同様に、日本に於いても独自の教育体系を持っています。子供達の発育に主眼を置きながら、創造力や潜在能力を引き出す教育がなされている様に思います。短大や大学も良く整備され、多くの課程や素晴らしい教育プログラムを持ち、学生にとって非常に居心地の良い場所が提供されていると思います。

3) 職業と経済について

群馬県内の多くの都市では、例えば桐生のパチンコ機械製造の様にそれぞれ独自の産業を持っている様に見受けられました。工業と農業は互いに上手くバランスが取れている様です。電気関係や、自動車製造関係、又金属関係の工場も大きな市場を持っている



様に見受けられます。農業関係では、群馬県は大きな農産物の産地で有り、様々な農作物が生産されています。近年過剰に成り始めた米の生産から、将来は、良質で安全性の高い野菜や果物の生産に転換を計る計画が群馬県独自のプランで勧められていると、県知事のお話で伺いました。

4) 環境について

環境保全とその構成は、これからの群馬県の課題だと考えます。森の保全や、山岳地帯の植物系、動物系の保護は大変行き届いていると思います。企業に於ける環境汚染対策も充分取られている様で、滞在期間中、大気汚染の原因と成る工場からの排煙も殆ど見られませんでした。是等の行き届いた環境保全の結果、群馬県は日本の中でも、観光客にとっては居心地の良い環境を作り出していると思います。

さて、次に私達をホストして下さった、ロータリークラブやメンバーの方々に、心からの御礼を申し上げたいと思います。特に、GSE委員の川堀先生と桐生RCの山崎さんには、滞在期間中、殆ど行動を共にして戴き、感謝の念に耐えられません。又、地区役員の間谷さんや、下井田さん、正田さん、為谷さん、福田さんには外堀から困う様に充分な支援を戴きました。この方達の支援無しには、私達の群馬県での研修は不成功に終わった事と思います。私達の群馬県側での研修は素晴らしい成果を挙げる事が出来たと確信しています。

率直な評価として

- a) 日本の方達は概して非常に実直で勤勉だと思います。
- b) 私達に便宜を計って下さったホストファミリーはどの家庭も大変素晴らしい人達で

した。

- c) 私達がお会いした総ての人々が大変親切で、又それが極自然に感じられました。
- d) 互いの信頼関係はファンタスティックの一言で、多分これは、日本の方達が実直で正直である所から来ているものと思います。

群馬県でお会いした総ての方達に対する尊敬の念に耐えません。

最後に第2840地区の矢野ガバナ-に親愛の情と素晴らしい歓待に対し、深甚なる感謝を申し上げて、筆を置きます。半月の間本当にお世話になり大変有難う御座居ました。



10/19RI 会長代理歓迎晩餐会



10/20
エクスカーション
(織物センター)



10/25 日光



10/28 群馬県知事表敬訪問

「こども奉仕体験作文コンクール」総評

こども奉仕委員長

疋田博之（桐生RC）

2002～2003年度、矢野ガバナーの深い思い入れにより新世代奉仕委員会のもとに新たに「こども奉仕委員会」が立ち上げられました。

平成14年度より学校保健法の改正により小、中学校において土曜日を総て休みとすると言うことで、日本学校保健会長でもある矢野ガバナーとしては、こども達がいかにその土曜日を有効に意義有るものとして過ごしていくか考え、その一つとして奉仕は重要なものとして位置づけた。そこで国際ロータリーとしては何が出来るか？地区大会の標語「皆で学ぼう 奉仕と平和」にもあるように、こども達にも奉仕の意義また楽しさ学んで貰おうということで、各クラブでは既に委員会メンバーを決めているにもかかわらず無理を御願ひして新委員会として発足することになった。

何をどのようにするか具体化するため3月頃より準備が進められ、初年度ということもあり、こども達に奉仕活動についての作文を書いて貰うことに決定、こども奉仕体験作文コンクールと名付け10月の地区大会での表彰することになった。その為には7月新年度になってからの準備ではこども達が夏休みに入ってしまう間に合わないということで各委員に5月にお集まり頂き、とりあえず趣旨をお話ししてご協力を御願ひすることになった。最終的には地域差はあったが、7月スタートと同時に各分区ごとに協議して頂き各学校に出向いて御願ひしていただいた。一方こども奉仕委員会と

しても県教育委員会さらにガバナー直々に知事と話がもたれた。県教育委員会共催と言うことになり各郡市の教育委員会から学校へも連絡されることとなった。

各会員のご協力により9月学校が始まると同時に、作文が事務局に送られ、予想を上回り思いの外、多くの作品が応募され小学校495件、中学校608件で合計1103件と多きに亘った。表彰も小学校低学年、高学年の差を考慮して、小学校低学年、小学校高学年、中学校の部としてそれぞれに知事賞3件、県教育長賞3件を、さらにガバナー表彰を64件選ぶこととした。

作品の審査にあたって初めは担当委員および関係委員によりおこなうこととしたが、作品の多いこともあり県教育委員会の協力を得ておこなわれた。審査は作文そのものの良さと共に奉仕活動の内容も加味され、厳選な審査が夜遅くまでおこなわれ最終決定をガバナーに委ねた。

作品の内容は学校主導型、地域主導型、全くの個人的考えによる奉仕活動によるものに分けられた。それぞれに味があり力作が多く、選考にあたって各審査委員は苦労したところである。こども達は大人と違った鋭い感性を持ち、またそれぞれの年齢にあった見方、考え方で対応し試行錯誤して奉仕活動体験をしていたことがよくわかる。超少子高齢化社会になった日本では、一方では核家族化が進んでいるため、老人とこどものふれ合いが少なくなっている状況の中で老人施設などにおけるふれ合いを持つ



ことによる奉仕が多く見られた。また、公園、道路等公共の場における清掃活動によりいろいろなことを学んでいるケースもあり、それぞれ継続することで、将来子ども達にとって大いに役立つものと考えられた。

選に漏れた多くの作品の中にも、こどもの鋭い目線で大人の社会を追求しているものも見られ大人として反省させられること、

考えさせられることも多く、この事業が子ども達にとっても励ましになることでもあり次年度も是非、継続していただきたいと考えている。

最後に多くの作品を応募していただき、ご協力頂いた各ロータリアン、学校関係者にあらためてお礼申し上げます。

奉仕作文コンクール受賞者

群馬県知事賞

小学校低学年の部 伊勢崎市立三郷小学校 3年 青木 まどか
小学校高学年の部 桐生市立西小学校 4年 山口 暁
中学校の部 渋川市立古巻中学校 3年 吉田 淑恵

群馬県教育長賞

小学校高学年の部 宮城村立宮城小学校 2年 武井 枝実
小学校高学年の部 吉井町立馬庭小学校 6年 鈴木 詩織
中学校の部 高崎市立塚沢中学校 2年 吉見 悠

ガバナー表彰 64件

奉仕作文コンクール受賞作品

『知事賞』 小学校低学年の部

伊勢崎市立三郷小学校 三年二組
青木 まどか

「アルポースにいて楽しかったこと」

わたしは、アルポースにいておばあちゃんたちと、友だちになりました。

さいしょはどきどきして声が出なくなりました。でも一人のおばあちゃんが、「がんばってね。」と、元気をくれました。わたしは、そのときとってもうれしかったです。リコーダをふいていたときおばあちゃんがわらってくれました。そのつぎに、気球ののってどこまでも歌ったときおばあちゃんたちが、手拍きをしてくれました。わたしは、そのとき、とっても楽しそうだったのでよかったです。

それからおばあちゃんや、おじいちゃんと遊びました。さいしょは、どきどきしたけど、おばあちゃんが、「いっしょにやろう。」と、言ってくれたので、ボールあそびをしました。おばあちゃんがわらってくれました。

そのつぎにボーリングをしました。わたしは、三こしかたおせませんでした。

そのあと、おばあちゃんがボーリングをしているのを、見ました。

おばあちゃんは、ぜんぶたおしてしまいました。わたしは、びっくりしてしまいました。わたしはおばあちゃんに、「すごいね。」と、言ってあげました。そしたらおばあちゃんがわらいました。

わたしは、心の中で、おばあちゃんてす



のぼ金活動をしているのですが協力してもらえますか。」と聞いた。「どのくらいすればいいの。」と聞かれたので、「ちょっとでもいいです。」と答えた。

次に友達の家へ2けんよった。その後友達のお母さんがしょうかいしてくれた人の所へ行ったら、1000円もぼ金してくれたのでとてもビックリした。最後に今泉校長先生の家へも行った。家にもどって、お母さんやおばあちゃんにもぼ金してもらった。人にばかりぼ金してもらうのも変なので、自分のおこづかいから1000円ぼ金した。お母さんに、「ペイブレードを2こ買ったと思いなさい。」と言われた。ぼくは、ペイブレードを買うのをがまんしようと思った。

ぼくは、ユニセフのぼ金活動をして、ぼくにも人の役に立つようなことができることがわかった。ぼくたちが集めたお金でたくさんの子どもたちの病気が治ると思うと、とてもうれしい。ぼくはこれからも人のためになる活動をしていきたいと思った。

『知事賞』 中学校の部

古巻中学校 三年一組

吉田 淑恵

「永光荘ボランティアを通して」

「それまでに何をしてあげられるか。何をしてあげられたか。」

私の住む古巻地区には、お年寄りの介護のための施設、永光荘があります。私の通う古巻中学校では、希望者を募り、夏休み、永光荘で生活しているお年寄りボランティアという形で交流しています。八月七日、私は、このボランティア体験に参加しました。

永光荘に着くとすぐ、職員さんから、いろいろな説明を聞きました。永光荘には、

たくさんのお年寄りが住んでいて、その他にも、何十人というお年寄りが通ってきているそうです。しかし、それ以外にも、この施設に入りたい、ここに通いたいというお年寄りがたくさんいるそうです。私は、とてもびっくりしました。それと同時に高齢化社会の深刻さを感じました。職員さんは最後に、こんな話をしてくれました。

「お年寄りがここを出て行く時は、大体が『死ぬ時』なんだよ。それまでに何をしてあげられるか。何をしてあげられたか。見送る時の涙が、ああ、もう少し何かしてあげたかったという悔し涙か。それとも、あの人に最後までいろんな事をしてあげられたな、生きることを手伝えたなという自分に満足の涙か。この仕事って、そういう仕事なんだよ。」

この話を伺った時、あっ私の考えたことは、あっていたのだと思いました。それは、以前仕事について家族と話合った時のことです。

老人関係の仕事をしている人は、何に喜びを感じているのだろうかということになり、出した答えが、お年寄りの世話をする人は、お年寄りが、今という時に満足し、自己充実できたこと、そのことを手伝えたことに喜びを感じているのだろうかということでした。今回、このボランティアに参加し、そのことが、現場で働く職員さんから直に聞けたので、うれしくなりました。

その後、施設を見学し、いよいよ、お年寄りと実際に交流することになりました。

最初は緊張してしましますが、二度目体験だったのですぐに話せるようになりました。

息子さんの事をうれしそうに楽しそうに話すおばあさんの顔は、今でも私の心の中に残っています。そして、もう一人のおば

委員会報告

あさんは、私に手作りの押し花の栞をくれました。なんだか、素朴で優しい感じがしました。昨年の私は、積極的に話しかけたりできず、おじいさんやおばあさんにとって、楽しい時間を作るために参加したのに、逆に気を遣わしてしまったように思います。しかし、今年は昨年より積極的に出来た気がします。ボランティアって何回も経験を積むことがとても大切なんだと実感しました。

今回のボランティアを通して、介護の仕事の大変さが少し分かったような気がします。

大変だけど、これからますます「高齢化」が進む日本にとってはとっても大切な仕事です。そんな仕事を少しでも、手伝ったことをうれしく思います。

おじいさん、おばあさん、いつまでもお元気で。職員のみなさん、自分に満足の涙が流せるように頑張ってください。

(群馬県教育長賞作品およびガバナー賞受賞者名はホームページに掲載しました。)

<http://www.kibounoie.or.jp/gov/>

ライラ研修会報告

ライラ委員長 島津文弘(高崎北RC)

開催日・時間：2002年

10月5日(土)10:00~

6日(日)16:00

会場：国立赤城青年の家

出席者：研修生 93名(内留学生23名)

ロータリアン 57名

ホストクラブロータリアン33名

合計 183名

報告事項

10月5~6日にかけて第2840地区の第2回ライラ研修会が行われました。研修テーマは「世界平和国際交流から元気100倍、異文化異体験コミュニケーションを...」として米山奨学生を中心に23名の留学生を20グループに1~2名ずつグルーピングをしました。そして、グループごとにテーマを設定し、留学生の意見を中心に国際交流ディスカッションに花を咲かせました。

異体験の方では前橋北ロータリアン家坂慶子会員を講師にまねき、だんべい踊りを指導していただきました。アロマテラピー、ウクレレ、海外旅行、添乗員物語、手話教室、の外部講師の他に高崎北ロータリアン講師により釜めしふた絵、バスケット、お茶、座禅と選択プログラムを体験して頂きました。

研修生、留学生、ロータリアン共に刺激と感動の2日間を過ごすことが出来ました。



職業奉仕研修セミナー報告



開催日・時間：2002年11月17日
16:00～18:30

会場：高崎サンパレス

出席者：重田研修リーダー、根本地区幹事、
八木橋大委員長、荻原委員長、
竹内委員、関田委員、藤掛副幹事
各クラブ 職業奉仕委員長 計50名

タイムスケジュール

司会 職業奉仕担当副幹事 藤掛幸四郎
15:30 受付(セミナー会場4F)
16:00 開会
挨拶(開催趣旨説明)
職業奉仕委員長 八木橋祥价
挨拶 地区幹事 根本 正則
16:10～17:10 セミナー開催
1) 講師紹介
2) 研修セミナー



研修リーダー・パーストガバナ 重田政信先生

3) 質疑応答

17:20～18:20 懇親会
(職業奉仕担当副幹事 藤掛幸四郎 記)

ローターアクト例会訪問記録

訪問クラブ：前橋RAC

日程：平成14年9月11日(水)
19時00分～20時30分
会場：前橋商工会議所3F 第一委員会室
感想：

前橋RACは、前橋RCのロータリアンの皆様のアクトに対する深いご理解と強い協力体制に恵まれたクラブであります。

例会当日も、RCの横田会長様、藤澤幹事様より、本年度アクト会員10名の増強を目標に、ロータリアンも全面協力しますとのお言葉をいただき、大変嬉しく、またありがとうございました。

前橋RACは「孤児・高齢者施設への慰問」「清掃活動」「チャリティークリスマスパーティー」等、非常に活発に活動されているクラブであります。また、本年度より古切手の収集にも取り組み、それを(社)日本キリスト教海外医療協力会に贈呈することにより、その収益が海外に派遣される日本人の医師や看護婦さん、または諸外国の医師や看護婦さんの勉強の資金の一部として、役立てられていると伺っております。

これからも地区の中心的なクラブとして、前橋RACの益々の活躍が期待されます。

出席者：合計20名

前橋RAC 8名 / 前橋RC 6名
RAC地区 5名 / 地区RC 1名

報告者 宮澤孝幸(沼田RC)

訪問クラブ：高崎北RAC

日時：平成14年10月8日(火)
19時30分～21時00分
会場：マリエール高崎 3F 会議室
感想：

皆さんから活発な意見が有り、多いに盛り

上がりました。RACは参加することに意義があり、異業種の友達も出来る。人数はRCより少ないけれど、広域な範囲で考えればいい大変楽しい例会でした。

出席者：合計 19名

高崎北RAC 9名 / 高崎北RC 3名 /

RAC地区 5名 / 地区RC 2名

報告者 村田 茂行(藤岡RC)

訪問クラブ：高崎北RAC

日時：平成14年10月23日(水)

19時00分～20時30分

会場：中央情報経理専門学校3号館1F

ガイダンスルーム

感想：

出席者も多く、歯切れの良い進行で活気のある例会でした。

出席者：合計 27名

前橋南RAC 17名 / 前橋南RC 2名 /

RAC地区 5名 / 地区RC 3名

報告者 村田茂行(藤岡RC)

訪問クラブ：太田RAC

日時：平成14年10月24日(木)

19時30分～21時00分

会場：グレイスフォート

感想：

長谷川会長・桑澤幹事の快活な進行で規律ある例会でした。ロータリアンともっと交流をしたいと言う意見は、とても素晴らしい事です。太田RAC公式訪問書も立派に作成しており、レベルの高さを感じられますが、地域へのボランティア事業も積極的に取り組んで欲しいと思います。

年次大会のホスト役、クラブ事業と重なっておりますが、大変頑張っています。

出席者

合計 18名

太田RC 3名

太田RAC 7名

RAC地区 6名

地区RC 2名

報告者 松本 博(太田RC)

訪問クラブ 桐生西RAC 桐生RAC

日時：平成14年9月25日(木)

19:00～21:00

会場：桐生プリオパレス

感想

親(提唱)クラブの桐生RC・桐生西RCより多数の役員さんのご出席をいただき、ロータリー活動の歴史の重さを痛感しました。特に、鈴木会長さんの北爪地区代表への支援の気持ちには、真の暖かさを感じました。

例会は、身近なテーマでローターアクターとロータリアンの活発な意見交換が出来とても良かったと思っております。12月の第3回年次大会の設営で大変かと思いますが、きっと素晴らしい年次大会が開催出来ると思います。

出席者

合計 22名

桐生RC 3名、桐生西RC 6名

桐生RAC 3名、桐生西RAC 2名

RAC地区 6名、地区RA 2名

報告者 松本 博(太田RC)



『ゆうポット』 ～環境に優しい植木鉢～

知的障害者の作業所で製作しています。皆さん是非応援してあげてください。

不況の嵐は生涯者施設の作業量にも影響し職員が仕事量の確保に奔走する事を余儀なくされているのが現状と伺っております。

古紙再生植木鉢製造機は障害者施設向けに古新聞、ダンボール、コピー用紙、牛乳パック等を材料にして鉢を制作する機械です。

材料は全てリサイクル資源を使いますのでまずコストがかからず、古紙と水だけですので最後は土に埋めて土に還る環境に優しく安心して進めることが出来る鉢です。

また、乾燥課程も天日を利用するため簡単に作業が可能で、しかも安全性を重視したシステム開発を致しました。

障害者の「自立」出来る機器として館林

市役所で購入し館林福祉センター作業所で現在鉢を製作していますが、出来上がった鉢の販路が問題となっております。現在は各種イベントにお願いしておりますが、作業所の指導員といろいろ話し合い、なんとか定期的に購入していただく先を見つけないと検討しております。(イベントでの実績は少々ついてきました。)

先日は当クラブ後援のウォークラリーの賞品として花を植えた鉢(付加価値を付けて)出させていただきました。今年は一萬株のパンジーを作業所で育てています。



お問合せ 館林東ロータリークラブ

電話 0276-76-7700

担当 青木 一夫

携帯 090-8562-0443

韓国災害救護金の御礼状が届いております

国際ロータリー 2840地区
矢野ガバナー様

秋、深く早く訪れた冬のような寒さが厳しい昨今のガバナー様は御健勝のことと申慮しています。

私は韓国慶尚南道、蔚山一馬山地方の3720地区のガバナー林世雄と申します。

この度、貴地区、大泉ロータリークラブの青木国際奉仕委員長より馬山の直前ガバナー文漢圭様を通じ、去る10月12日 蔚山の地区財団セミナーの席上にて地区会員

の前で貴地区の貴重な災害救護金を伝達受領致しました。

国境を越えたロータリーの友情、人道的真心に3000の地区会員と共に私は深く感謝の言葉を申し上げます。

これからも貴地区の益々の発展とガバナー様の健勝を祈願しつつ感謝のあいさつと致します。有難うございました。

2002年11月5日

国際ロータリー3720地区
ガバナー 林 世雄 拝上

矢野年度下半期スケジュール

行事名	開催日	場所
ローター財団地域セミナー	02.11.28	大阪国際会議場
ゾーン・地区会員増強委員長会議	02.11.29	大阪国際会議場
ガバナー・エレクト研修セミナー	02.11.29	リーガロイヤルホテル
第2回ガバナー会	02.11.29	大阪国際会議場
同期会「ラタクル会」	02.11.30	リーガロイヤルホテル
第4回派遣GSEチームオリエンテーション	02.11.30	メトロポリタン高崎
第31回Q-列・ゾーン研究会	02.11.28～12.1	大阪国際会議場
R財団GSEチームオリエンテーション	02.11.30	メトロポリタン高崎
(仮)富岡かぶらRC設立総会	02.12.3	ホテルアミューズ富岡
RID 2580地区大会	02.12.4～12.5	ホテルニューオータニ
ガバナー座談会	02.12.6	東京プリンスホテル
第2回全国青少年交換委員会	02.12.8	新高輪プリンスホテル
ローターアクト年次大会	02.12.14	桐生プリオパレス
第4回国際奉仕委員会	02.12.15	桐生プリオパレス
高崎北RC35周年	02.12.18	高崎ビューホテル
米山奨学委員会(選考会要項打合せ)	03.1.5	
第2回諮問委員会(矢野)	03.1.19	高崎ビューホテル
GE壮行会	03.1.19	高崎ビューホテル
米山奨学委員会(選考会準備)	03.1.25	
米山奨学委員会(選考会)	03.1.26	前橋東急イン
茶の湯(候補)	(03.2.1)(2.2)	
ローターアクト海外研修	03.2.8～2.11	タイ バンコク
第2回会員増強セミナー・退会防止セミナー	03.2.16	桐生プリオパレス
クラブ奉仕委員会引継会	03.2.16	メトロポリタン高崎
米山奨学セミナー	03.3.2	前橋東急イン
米山歓送迎会	03.3.2	前橋東急イン
富岡かぶらRC認証状伝達式	03.3.3	アミューズ富岡
桐生RC 50周年	03.3.8	ホテルきのこの森
碓氷安中RC 5周年	03.3.16	並木苑
インターアクト海外研修	03.3.20～3.24	中華民国台湾省台北
PETS	03.3.22～3.23	伊香保温泉 福一
太田南RC 25周年	03.4.4	太田ナウリゾート
館林RC 45周年	03.4.19	レストランジョイハウス
富岡RC 40周年		
新田RC 20周年	03.5.10	ホテルプラザニッタ
地区協議会	03.5.18	渋川市民会館
米山奨学生オリエンテーション	03.5.25	
第5回国際奉仕委員会	03.5.	
職業奉仕委員会引継会	03.5.	
RI国際大会	03.6.1～6.4	ブリスベーン
米山学友会総会	03.6.15	
米山奨学委員会引継会	03.6.29	
第6回AG会		
R財団プログラム会議		
第3回諮問委員会(矢野)	03.6.	
クラブ奉仕委員会引継会	03.6.	
職業奉仕委員会	03.6.	
地区拡大委員会引継会	03.6.	
ゴルフ大会	03.10.17	
地区大会	03.10.18～10.19	渋川市民会館



新 会 員 紹 介



伊勢崎ロータリークラブ
入会日：2002年10月30日
職業分類：短期金融
勤務先：(株)足利銀行伊勢崎支店
役職：支店長
推薦者：板垣時央 古賀友二

真秀 一博



桐生ロータリークラブ
入会日：2002年9月30日
職業分類：スプリング製造
勤務先：群馬発条株式会社
役職：代表取締役
推薦者：八木橋祥价

岸 省吾



前橋ロータリークラブ
入会日：2002年10月15日
職業分類：税理士
勤務先：税理士法人上野丸山会計事務所
役職：代表社員
推薦者：横田秀治

丸山 研二



前橋ロータリークラブ
入会日：2002年10月15日
職業分類：建設
勤務先：鹿島建設(株)群馬営業所
役職：副所長
推薦者：堤 公男

大脇 光久



前橋ロータリークラブ
入会日：2002年10月15日
職業分類：冠婚葬祭
勤務先：(株)メモリード
役職：常務取締役
推薦者：前田 勇

本行 清明

謹んでご冥福をお祈りいたします



小野里恒男様

1933年6月8日生・享年69歳
前橋中央ロータリークラブ
事業所：(株)上武不動産鑑定事務所・
代表取締役
ロータリー歴：1944年4月19日
前橋中央RC創立総会
(チャーターメンバー)
2001~02年 会長
2000年8月ポールハリスフェロー

RIニュースから

ロータリアンは西アフリカで7,000万人にポリオの予防接種をする運動を進めます。

11月9~15日の全国予防接種日(NIDD)に合わせて、西アフリカの16か国は、5歳未満のすべての子どもにワクチンを投与するために協力しました。およそ7,000万人の子どもたちが対象になります。

ナイジェリアでは、米国中西部の43人のロータリアンが、3,500人の地元のロータリアンと合流して、4,000万人の子どもた

ちに経口ワクチンの投与に参加しました。

また、サンフランシスコとオークランドから、34人のロータリアンがガーナへ向かいました。第5170地区ガバナーのブラッドフォード・ハワード氏は、「ポリオは身体の障害をもたらしますが、防ぐことができる病気でもあります。ポリオを世界から根絶するという歴史的運動に参加していることは、私たちの誇りなのです」と述べました。

コートジボワールでは、内戦が勃発したにもかかわらず、ロータリアンはN I Dに参加することをやめませんでした。マリーイレーヌ・リッチモンドアウア国家ポリオ・プラス委員長は、政治の中心地であるヤムスクロでボランティアの先頭に立ち、

ロータリアンの運動をたたえました。
R J W (ロータリー・ジャパン・ウェブ)のホームページ
<http://www.rotary.or.jp>

..... **文 庫 通 信** (182号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの奉仕活動

- 「新世紀のロータリー奉仕活動について<パネルディスカッション>」 南園義一 他
2002 14 p (D.2710 地区大会)
- 「新世紀の地域社会奉仕」 仁田一也 2002 6 p (D.2710 合同IM)
- 「国際社会とボランティア - ロータリーへの期待とロータリアンの役割」 本間正明
2002 7 p (D.2660 地区大会)
- 「ロータリーは何をなすべきか<パネルディスカッション>」 本間正明 他
2002 7 p (D.2660 地区大会)
- 「ロータリーで今、変えることと変えてはいけないこと<パネルディスカッション>」 黒田正宏 他
2002 4 p (D.2830 地区大会)
- 「地域社会と地球社会をつなぐ力<シンポジウム>」 2002 11 p (D.2810 地区大会)
- 「新世紀のロータリー」 板橋敏雄・関場慶博・高橋福八 2002 6 p (D.2570 地区大会)
- 「新世代育成のため今なすべきロータリーの役割<シンポジウム>」 藤川享胤 他
2002 12 p (D.2530 地区大会)
- 「ロータリーの未来とそのあり方」 千宗室 2002 6 p (D.2650 地区大会)
- 「ロータリー遠望」 森三郎 2002 8 p (D.2610 地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL. (03) 3433-6456 FAX. (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日



第2840地区 2002年10月出席報告

クラブ数	会員数				
	10月初	10月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,375	2,371	-4	51	87.38

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第1分地区						
前橋	5	95.98	98	98	0	0
前橋西	4	97.83	69	69	0	0
前橋東	5	90.88	72	72	0	0
前橋北	3	87.36	63	63	0	2
前橋南	5	90.21	41	40	-1	0
前橋中央	4	87.16	42	42	0	4
合計(6クラブ)		91.57	385	384	-1	6
第2分地区						
桐生	4	83.90	72	72	0	0
伊勢崎	5	89.45	74	74	0	0
桐生南	5	85.33	53	53	0	1
群馬境	3	87.70	51	51	0	3
桐生西	4	94.39	68	67	-1	0
伊勢崎中央	4	88.56	62	62	0	0
伊勢崎南	5	86.67	42	41	-1	1
桐生中央	5	87.02	41	41	0	5
伊勢崎東	3	83.76	39	39	0	1
桐生赤城	5	92.56	44	43	-1	2
合計(10クラブ)		87.93	546	543	-3	13
第3分地区						
高崎	3	88.43	77	77	0	0
高崎南	5	89.86	76	77	1	3
富岡	5	97.41	57	57	0	3
藤岡	5	91.58	59	59	0	2
安中	4	70.83	36	36	0	0
高崎北	5	89.43	64	64	0	0
藤岡北	5	70.58	20	20	0	1

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第3分地区						
高崎東	5	95.33	63	63	0	0
富岡中央	5	89.36	48	46	-2	0
高崎ソフォニー	4	74.48	51	51	0	3
碓氷安中	4	71.78	31	31	0	3
高崎セントラル	4	79.26	44	44	0	0
藤岡南	4	82.24	38	37	-1	4
合計(13クラブ)		83.89	664	662	-2	19
第4分地区						
太田	5	87.29	99	99	0	0
館林	4	92.08	61	61	0	0
大泉	4	86.17	53	53	0	2
太田西	4	81.40	41	41	0	1
太田南	5	97.10	56	56	0	0
館林西	4	88.67	23	23	0	0
新田	5	90.00	37	37	0	0
館林東	5	84.67	32	32	0	1
太田中央	4	84.02	36	36	0	3
館林レニウム	5	83.65	32	32	0	0
合計(10クラブ)		87.51	470	470	0	7
第5分地区						
渋川	5	95.24	72	72	0	2
沼田	4	98.27	59	59	0	0
草津	4	89.75	26	28	2	1
水上	5	77.70	9	9	0	0
中之条	5	81.54	30	30	0	1
沼田中央	4	95.15	67	67	0	0
渋川みどり	5	87.56	47	47	0	2
合計(7クラブ)		89.32	310	312	2	6

12月の行事予定

- 12月 1日 ロータリー研究会
- 12月 3日 (仮) 富岡かぶらRC創立総会
- 12月 4日 D2580 地区大会
- 12月 5日 D2580 地区大会
- 12月 6日 ガバナー座談会
- 12月 8日 第2回全国青少年交換委員長会議
- 12月 14日 ローターアクト年次大会
- 12月 15日 第4回国際奉仕委員会
- 12月 18日 高崎北RC 35周年

**12月のロータリー・レートは
1ドル 120円です**

印刷用紙について

月信は見開きになりますので両面に印刷してください。インクジェットプリンタの場合、裏面ににじみまますのでインクジェット用両面印刷用紙をお勧めします。レーザープリンタ、コピーの場合は普通紙でも可です。